

4. 活動報告

4.1 都市防災研究協議会（経済）

都市や産業集積地で発生する大規模災害によってもたらされる経済的な影響についてシナリオとして把握することにより、災害対応や復興施策の前提条件を明らかにするとともに民間部門におけるBCPなどで考慮すべき経済的な脆弱性について検討する。

4.1.1 第10回都市防災研究協議会（経済）

開催日時：平成27年7月24日（金）14:00～17:00

開催場所：関西大学東京センター

議事次第・発表者

- ① 青山学院大学経営学部 教授 亀坂安紀子
「大震災と投資家行動」
- ② 九州大学大学院経済学研究院 准教授 宮崎 毅
関西大学社会安全学部 教授 永松伸吾
「南海トラフ巨大地震による市町村財政需要の推計」
- ③ 全体討議

4.2 都市防災研究協議会（政策）

阪神・淡路大震災や東日本大震災等を通じて、巨大災害に対する大都市の脆弱性の克服が重要な課題となっている。そこで、この課題解決に資するため、巨大災害対策法制のあり方について検討する。

4.2.1 第9回都市防災研究協議会（政策）

開催日時：平成27年6月15日（月） 13:30～16:00

開催場所：京都大学東京オフィス会議室2・3 品川インターシティ A棟 27階

議事次第・発表者

- ① 関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科 教授 高野一彦
「現行個人情報保護法制における利活用とプライバシー保護の課題と新法制の展望」
- ② 全体討議

4.2.2 第10回都市防災研究協議会（政策）

開催日時：平成27年10月5日（月） 13:30～16:00

開催場所：京都大学東京オフィス会議室2・3 品川インターシティ A棟 27階

議事次第・発表者

- ① 福岡大学法学部 准教授 井上禎男
「大規模災害と住民参加（地区防災計画のあり方）」
- ② 全体討議

4.2.3 第11回都市防災研究協議会（政策）

開催日時：平成27年12月14日（月）13:30～16:30

開催場所：京都大学東京オフィス会議室2・3 品川インターシティA棟27階

議事次第・発表者

- ① 北九州市立大学法学部 准教授 中村英樹
「大規模災害とメディア—地域放送を中心に—」
- ② 全体討議

4.3 都市防災研究協議会（TIEMS）

巨大災害の災害対応では、行政だけでなく民間も含めて災害対応体制の標準化が行われていることが重要である。行政・民間を含めた防災担当職員の災害対応能力の向上を目指し、TIEMS日本支部と共同して、標準的な災害対応体制に関する情報共有のプラットフォームの構築について検討する。

4.3.1 第9回都市防災研究協議会（TIEMS）

開催日時：平成27年6月17日（水）13:00～17:20

開催場所：京都大学東京オフィス会議室1・2・3 品川インターシティA棟27階

議事次第・発表者

- ① （株）日本防災デザイン CEO（元在日米陸軍統合消防本部次長）熊丸由布治
「危険物災害から身を守る方法」
- ② 防衛医科大学校免疫微生物学講座 准教授 木下 学
「災害とテロ 身近な危険を知る」
- ③ Lauren Alexander Augustine
Director, Program on Risk, Resilience, and Extreme Events, and Associate
Executive Director, Division on Earth and Life Studies
The National Research Council
「CBRNレジリエンスの構築を目指して」
- ④ 全体討議

4.3.2 第10回都市防災研究協議会（TIEMS）

開催日時：平成27年9月15日（火）13:00～17:20

開催場所：品川フロントビル会議室A

議事次第・発表者

- ① （株）重松製作所社長付主任研究員 兼 営業担当専務付主任部員 濱田昌彦
「地下鉄サリン事件における自衛隊の対応」
- ② 一般財団法人全国危険物安全協会 理事 佐藤康雄
「福島第一原発事故消火活動を振り返る」
- ③ 日本電気（株）東京オリンピック・パラリンピック推進本部
パブリックセーフティ事業推進室 エキスパート 宇田川登紀
「ボストン・ロンドンマラソンにおける危機管理」

④ 全体討議

4.3.3 第11回都市防災研究協議会 (TIEMS)

開催日時：平成28年1月29日(金) 13:00~17:20

開催場所：京都大学東京オフィス会議室1・2・3 品川インターシティA棟27階

議事次第・発表者

- ① 防衛医科大学校 分子生体制御学講座 教授 四ノ宮成祥
「身近に存在する生物兵器リスク」
- ② (独)製品評価技術基盤機構化学物質管理センター調査官(リスクコミュニケーション担当) 竹田宜人
「化学工場事故等に備えた地域住民とのリスクコミュニケーション」
- ③ (株)ノルメカエイシア 代表取締役兼CEO 千田 良
「CBRN災害に備えた医療資機材と民間企業が使える資機材」
- ④ 全体討議

4.4 全体ワークショップ

4.4.1 第7回全体ワークショップ

開催日時：平成27年8月24日(月) 10:00~17:30 8月25日(火) 10:00~16:40

開催場所：都市センターホテル6F601会議室

議事次第・発表者

平成27年8月24日(月)

- | | |
|-------|---|
| 10:00 | 開会
文部科学省あいさつ
文部科学省地震・防災研究課防災科学技術推進室 渋谷昌彦 |
| 10:05 | 中心市街地における効率的な災害対応能力向上手法に関する研究
-2015年度中間報告-
工学院大学建築学部 久田嘉章 |
| 10:20 | 災害時の建物被害および傷病者に関する情報収集・集約手法の検討
鱒沢工学研究所 鱒沢 曜 |
| 10:35 | 防災担当職員向け教育・訓練システムの開発(1)
東京大学生産技術研究所 目黒公郎 |
| 10:50 | 防災担当職員向け教育・訓練システムの開発(2)
東京大学生産技術研究所 沼田宗純 |
| 11:05 | このセッションに関する討論 |
| 11:35 | 休憩 |
| 13:00 | 防災リテラシーハブの現状と今後
兵庫県立大学環境人間学部 木村玲欧 |
| 13:15 | WebEOCに関する進捗報告
NTTセキュアプラットフォーム研究所 前田裕二 |

- 13:30 生活再建支援システムに関する教育・訓練システムの開発
～広域災害に対応した生活再建支援業務～
新潟大学危機管理室 田村圭子
- 13:45 生活再建支援業務に係る研修・訓練プログラムの岩手県への適用事例
インターリスク総研総合企画部 堀江 啓
- 14:00 被害認定調査結果の検証
常葉大学大学院環境防災研究科 田中 聡
- 14:15 このセッションに関する討論
- 14:45 休憩
- 15:00 大規模災害に耐え得る防災法制・体制の確立
関西大学社会安全学部 山崎栄一
- 15:15 大都市等における災害対策法制の課題
政策研究大学院大学 武田文男
- 15:30 危機管理システムの標準化を目指して ISO22320
京都大学防災研究所 牧 紀男
- 15:45 ICS 推進研究会の成果報告
防衛医科大学救急部 兼 防衛医学研究センター
外傷研究部門 秋富慎司
- 16:00 マイクロメディアサービスにおけるマッシュアップ・双方向インタラク
ション技術の開発
産業技術総合研究所 野田五十樹
- 16:15 このセッションに関する討論
- 16:45 休憩
- 16:55 災害ビッグデータで拓く次世代防災
NHK 報道局遊軍プロジェクト 阿部博史
- 17:30 終了

平成 27 年 8 月 25 日 (火)

- 10:00 都市減災ジオポータルの開発
京都大学防災研究所 鈴木進吾
- 10:15 広域版地震被害想定システムと防災情報のマッシュアップ
総務省消防研究センター 細川直史
- 10:30 関西圏における次世代復興計画に関する研究
関西大学社会安全学部 越山健治
- 10:45 中京圏で予想される大都市災害の被害像に関する研究
名古屋大学減災連携研究センター 廣井 悠
- 11:00 サブプロ 1 からの発表
東京大学地震研究所 酒井慎一
- 11:20 このセッションに関する討論
- 11:50 休憩

- 13:15 ライフライン機能被害・復旧予測に関する評価ツールの開発
岐阜大学工学部 能島暢呂
- 13:30 既往地震におけるライフライン施設・機能の被害・復旧データの分析：
上下水道システム及び橋梁（津波被害）
筑波大学システム情報系 庄司 学
- 13:45 広域な上水道管路被害率と高速道路復旧時間の予測方法に関する検討
千葉大学大学院工学研究科 丸山喜久
- 14:00 巨大地震における上下水道施設の必要復旧人員の予測
鹿島建設技術研究所 永田 茂
- 14:15 このセッションに関する討論
- 14:45 休憩
- 15:00 都市の脆弱性軽減のためのマイクロメディアサービスプロトタイプ版の開発
新潟大学災害・復興科学研究所 井ノ口宗成
- 15:15 このセッションに関する討論
- 15:30 総合討論
- 16:25 講評
文部科学省研究開発局地震・防災研究課防災科学技術推進室 田中大和
渋谷昌彦
京都大学防災研究所 林 春男
- 16:40 終了

4.4.2 第8回全体ワークショップ

開催日時：平成28年1月21日（木）14:00～16:30 1月22日（金）10:00～16:00

開催場所：神戸国際会議場 5F 501号室

議事次第・発表者

1月21日

14:00～14:10 開会挨拶

関西大学社会安全研究センター センター長・教授 河田恵昭

14:10～15:10 「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策

関西大学社会安全研究センター センター長・教授 河田恵昭

15:10～16:10 都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト

「3. 都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」

京都大学防災研究所 特任教授 林 春男

16:10～16:30 質疑応答

1月22日

10:00～10:40 河川堤防の液状化被害と解析

京都大学 名誉教授 岡 二三生

10:40～11:20 災害対応支援システム BOSS の開発

東京大学生産技術研究所 講師 沼田宗純

- 11:20～12:00 津波シナリオの多様性の解析とその利活用
 防災科学技術研究所 レジリエント防災・減災研究推進センター
 主幹研究員 鈴木進吾
- 13:00～13:40 マイクロメディアサービス実現にむけた、狭域防災情報サービスの
 の社会実装の取組み
 狭域防災情報サービス協議会 理事長 須藤 三十三
- 13:40～14:20 国難災害における災害時要援護者対応を考える
 ～東京都社会福祉協議会における図上シミュレーション訓練～
 新潟大学 危機管理室 教授 田村 圭子
- 14:20～15:00 巨大地震におけるライフライン・インフラの被害影響と減災対策
 鹿島建設株式会社 技術研究所 上席研究員 永田 茂
- 15:00～16:00
 パネルディスカッション
 モデレーター：関西大学社会安全研究センター センター長・教授 河田恵昭
 パネリスト：話題提供者全員
- 16:00 閉会挨拶
 京都大学防災研究所 特任教授 林 春男

4.5 成果発表会

4.5.1 第4回成果発表会

日時：2016年2月29日(月) 10時～17時15分

場所：全国町村会館 ホール

主催：都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト

「都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」チーム

次第・発表者

9:30 開場

総合司会：東京大学生産技術研究所 教授 目黒公郎
 新潟大学危機管理室 教授 田村圭子

10:00-10:10 開会挨拶

文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課 課長 谷 広太

10:10-10:30 都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究の目指すもの
 防災科学技術研究所 理事長・京都大学防災研究所 特任教授 林 春男

10:30-10:55 都市減災ジオポータル構築

防災科学技術研究所レジリエント防災・減災研究推進センター
 主幹研究員 鈴木進吾

- 10:55-11:20 中京圏を対象とした被災者数分布に関する研究
名古屋大学減災連携研究センター 准教授 廣井 悠
- 11:20-11:45 ライフラインの地震被害とその影響評価について
岐阜大学工学部 教授 能島暢呂
- 13:00-13:25 WebEOC の効果的な活用について
NTTセキュアプラットフォーム研究所 主任研究員 一ノ瀬文明
- 13:25-13:50 Micromedia Service: 個人の津波避難経路選定ツールの実装と評価分析
静岡大学情報学部 講師 井ノ口宗成
- 13:50-14:15 防災リテラシーハブによる知の集積化・統合化
兵庫県立大学環境人間学部 准教授 木村玲欧
- 14:15-14:40 建物被害調査に関する教育・訓練システムの開発
常葉大学大学院環境防災研究科 教授 田中 聡
- 今年の注目研究
- 15:00-15:05 はじめに
防災科学技術研究所 理事長・京都大学防災研究所 特任教授 林 春男
- 15:05-15:50 サブプロ①「東日本大震災後の首都圏の大地震とその災害像」
コーディネーター：東京大学地震研究所 准教授 酒井慎一
発表：東京大学地震研究所 教授 平田 直
東京大学地震研究所 教授 堀 宗朗
- 15:50-16:35 サブプロ②「都市機能の維持・回復のための調査研究の成果の概要」
コーディネーター：(株)小堀鐸二研究所 副所長 小鹿紀英
発表：京都大学防災研究所 教授 中島正愛
- 16:35-17:15 総合討論「ポスト都市災害への展望」
コーディネーター：新潟大学危機管理室 教授 田村圭子
討論者：上記セッション発表者、目黒公郎、能島暢呂
- 17:15 終了

4.6 サブプロ間連携

4.6.1 サブプロ1との連携

サブプロ①運営委員会等にサブプロ③からも委員として参加し、理学・工学・社会科学の連携・接点を議論している。特にサブプロ①における「地震動・地震応答の大規模数値解析法」「その結果の先端可視化技術の開発」等に関して、サブプロ③の「ジオポータル開発」「防災リテラシーハブの研修・訓練プログラム」との連携可能性を模索し、担当者間の

研究協力を進めている。

4.6.1.1 第5回研究運営委員会

開催日時：平成27年9月18日（金）13:30～17:30

開催場所：東京大学地震研究所1号館3階 会議室

議事次第

- ① 南関東の地震像の解明
- ② 観測に基づく都市の地震被害調査技術の開発
- ③ サブプロジェクト①の管理・運営
- ④ 統括委員会によるプロジェクト全体の運営
- ⑤ サブプロジェクト間の連携について

4.6.1.2 第6回研究運営委員会

開催日時：平成28年3月3日（木）13:30～17:30

開催場所：東京大学地震研究所1号館3階 会議室

議事次第

- ① 南関東の地震像の解明
- ② 観測に基づく都市の地震被害調査技術の開発
- ③ サブプロジェクト①の管理・運営
- ④ 統括委員会によるプロジェクト全体の運営
- ⑤ サブプロジェクト間の連携について

4.6.2 サブプロ2との連携

都市の集合住宅などの大規模な非木造建物が被災した際の、建物被害調査の方法について、センサーからの損傷程度の評価結果と目視による建物内部の被害調査結果を統合して、建物の安全性や使用継続性など建物被災度の評価方法について検討する。

具体的には以下の協議を行った。

4.6.2.1 第16回研究運営委員会

開催日時：平成27年7月6日（月）14:00～17:00

開催場所：建築会館 304 会議室

議事次第

- ① 前回議事録の確認
- ② 今年度の業務計画
- ③ 分科会報告
- ④ 研究成果の社会還元方策

4.6.2.2 第17回研究運営委員会

開催日時：平成27年9月24日（木）14:00～17:00

開催場所：建築会館 304 会議室

議事次第

- ① 前回議事録の確認
- ② 分科会報告
- ③ E-ディフェンス実験における作業
- ④ 地盤・杭基礎の地震被害モニタリング技術検証のための振動台実験の公開に関して
- ⑤ PJ 最終成果物について

4.6.2.3 第5回モニタリング検討WG

開催日時：平成27年9月24日（木）17:00～19:00

開催場所：建築会館 304 会議室

議事次第

- ① 前回議事録確認
- ② 指針および技術資料作成方針とスケジュール
- ③ 健全度判定システムを用いた地震時の建物の管理マニュアル作成指針（仮）
- ④ 各種技術資料のテンプレート

4.6.2.4 第18回研究運営委員会

開催日時：平成27年12月16日（水）14:00～17:00

開催場所：建築会館 304 会議室

議事次第

- ① 前回議事録確認
- ② 分科会報告
- ③ 研究成果の社会還元方策
- ④ PJ 最終成果物について
- ⑤ 都市機能S造18層実験成果の英語でのウェブ公開について

4.6.2.5 第6回モニタリング検討WG

開催日時：平成27年12月16日（水）17:00～19:00

開催場所：建築会館 304 会議室

議事次第

- ① 前回議事録確認
- ② 健全度判定システムを用いた地震時の建物の管理マニュアル作成指針（仮）
- ③ 前回WGでの審議概要、委員からの回答一覧
- ④ マニュアル作成指針の修正方針と協議事項

4.6.2.6 第19回研究運営委員会

開催日時：平成28年3月11日（金）14:00～17:00

開催場所：建築会館 304 会議室

議事次第

- ① 前回議事録確認

- ② 分科会報告（今年度研究実施状況と来年度研究計画）
- ③ 来年度業務計画とスケジュールについて
- ④ 成果展開の実績と予定

4.7 対外発表

4.7.1 成果の論文発表・口頭発表等

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
WebGIS サービスの連携による簡易型地震災害想定 Webアプリケーションの開発（口頭）	鈴木進吾	地域安全学会	2015年11月	国内
WebGIS サービスの連携による簡易型地震災害想定 Webアプリケーションの開発	鈴木進吾、林春男	地域安全学会論文集, No. 25, pp. 215-224	2015年11月	国内
あなたのまちの直下型地震	林春男、鈴木進吾	日本テレビ News Every.	2016年3月4日	国内
広域巨大災害における仮住まい供給方策に関する考察（ポスター）	越山健治	静岡県地震防災センター（地域安全学会秋季一般論文発表会）	2015年11月	国内
広域巨大災害における仮住まい供給方策に関する考察	越山健治	地域安全学会梗概集 No. 37, pp. 91-94	2015年11月	国内
東日本大震災における住宅再建の現状と地域復興との関係	越山健治	東日本大震災 復興5年目の検証, 関西大学社会安全学部編, ミネルヴァ書, pp. 50-70	2016年3月	国内
東北地方太平洋沖地震に伴う首都圏近傍の鉄道事業者の運休に寄与した要因の考察（口頭）	加藤宏紀、能島暢呂	土木学会中部支部平成27年度研究発表会（豊田市）	2016年3月	国内
供給系ライフラインの地震時機能的被害・復旧評価モデル—地点別簡易評価法のツール開発—（口頭）	加藤宏紀、能島暢呂	第70回土木学会年次学術講演会（岡山市）	2015年9月	国内
南海トラフ巨大地震によるエネルギー拠点施設の津波曝露評価（口頭）	能島暢呂、加藤宏紀	地域安全学会梗概集, No. 36（大島町）	2015年5月	国内
上水道拠点施設の地震被害及び復旧期間評価のための基礎分析（口頭）	永田茂	第6回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム論文集（東京）	2016年1月	国内
Vulnerability analysis of water distribution pipes based on the damage dataset compiled for Sendai City after the 2011 off the Pacific coast of Tohoku earthquake（口頭）	Yoshihisa Maruyama, Shigeru Nagata	10th Pacific Conference on Earthquake Engineering（シドニー、オーストラリア）	2015年11月	国際
東北地方太平洋沖地震の津波被災地における平面道路被害分析（口頭）	板垣治、丸山喜久	第70回土木学会年次学術講演会（岡山市）	2015年9月	国内
下水道埋設管の液状化被害地点の地盤を対象とした地震応答解析（口頭）	原昌弘、庄司学	第6回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム講演集（東京）	2016年1月	国内
2011年東北地方太平洋沖地震津波により被災した道路網の橋台周辺部の被害把握（口頭）	高橋和慎、庄司学	第6回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム講演集（東京）	2016年1月	国内
東北地方太平洋沖地震で被災した下水道管路網・敷設下の工学的基盤相当に作用した地震波に関する一考察（口頭）	原昌弘、庄司学	日本地震工学会・大会—2015 梗概集（東京）	2015年11月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
東北地方太平洋沖地震津波により被災した橋台周辺盛土の被害把握（口頭）	高橋和慎、庄司学、水越湧太	第70回土木学会年次学術講演会（岡山市）	2015年9月	国内
東日本大震災における鉄道運休と震度分布との関係の確率・統計的分析	能島暢呂、加藤宏紀	JCOSSAR2015 論文集（第8回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム）	2015年10月	国内
k-out-of-n 遮断システムとしてみた都市ガス供給の第1次緊急停止判断に関するシステム分析	能島暢呂、加藤宏紀	土木学会論文集 A1S、Vol.71、No.4	2015年9月	国内
供給系ライフラインの地震時機能的被害・復旧評価モデル—市区町村別簡易評価法のシステム構築—	加藤宏紀、能島暢呂	日本地震工学会論文集（JAEE 特集号）第15巻、第7号	2015年12月	国内
既往の上水道配水管の地震被害予測式の予測精度に関する検討	永田茂、丸山喜久、庄司学	土木学会論文集 A1S、Vol.71、No.4、pp. I_50-I_61	2015年9月	国内
移動効率に着目した高知県における広域物資拠点の選定	羽深裕希、丸山喜久	土木学会論文集 A1（構造・地震工学）、Vol.71、No.4、pp. I_257-I_264	2015年9月	国内
Damage assessment of water distribution pipelines after the 2011 off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake	Yoshihisa Maruyama, Shigeru Nagata, Kazue Wakamatsu	Journal of Energy Challenges and Mechanics, Vol. 2, No. 4, pp. 144-149	2015年12月	国際
WBSを活用したスマホ版アクションカード（口頭）	井ノ口宗成	減災情報システム第4回合同研究会	2015年9月	国内
個人における津波避難経路決定支援ツールのプロトタイプ版（口頭）	関川貴大、井ノ口宗成	電子情報通信学会第7回安全・安心のための情報通信システム研究会	2015年10月	国内
個人減災行動力の向上を目指した津波避難経路決定支援ツールのストーリー化（口頭）	関川貴大、井ノ口宗成、田村圭子	2016年電子情報通信学会総合大会	2016年3月	国内
Development of "WBS Manager" to Design Disaster Response Plan	Munenari INOBUCHI, Keiko TAMURA, Haruo HAYASHI	IEICE TRANSACTIONS on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences	2015年8月	国際
津波避難で新潟大が新システム	井ノ口宗成	NHK 首都圏ニュース 845	2015年11月2日	国内
津波避難経路 ネットで検索	井ノ口宗成	新潟日報 朝刊	2015年11月3日	国内
津波避難、ネットで誘導 新潟大助教と院生が開発	井ノ口宗成	朝日新聞デジタル	2015年11月19日	国内
津波避難計画作成ツール公開	井ノ口宗成	日本経済新聞 朝刊	2015年11月25日	国内
図上訓練評価支援システムと情報可視化（口頭）	野田五十樹、加藤尊秋、谷延正夫、麻生英輝、梅山吾郎	第4回減災情報システム合同研究会	2015年9月	国内
美術館における逃げ地図シミュレータの展示とその利用状況の分析（口頭）	辻順平、松島裕康、山下倫央、野田五十樹	第5回減災情報システム合同研究会	2016年3月	国内
政令指定市等における災害法制の課題（口頭）	武田文男	台湾防災学会（高雄/台湾）	2015年6月	国際
災害への対応と課題（口頭）	武田文男	防災危機管理ラボ（ラ・プラス青森）	2015年7月	国内
大規模イベント開催時等の危機管理（口頭）	武田文男	台日大型群集活動危機管理・緊急応変交流検討会（台北/台湾）	2015年9月	国際
災害対策標準化に関する論点（私案）について（口頭）	武田文男	中央防災会議防災対策実行会議災害対策標準化推進ワーキン	2016年3月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
		ググループ（内閣府）		
被災者支援の法制度（口頭）	山崎栄一	北陸公法判例研究会	2015年6月20日	国内
分科会報告：首都直下型地震における災害関連法制及び立憲主義（口頭）	山崎栄一	日本災害復興学会	2015年9月26日	国内
インクルーシブ防災を目指した街づくり（口頭）	山崎栄一	東北福祉大学	2015年11月21日	国内
原子力災害特別措置法	山崎栄一	『法学者から見た防災教育』ぎょうせい	2015年9月	国内
分科会報告「分科会1 首都直下型地震における災害関連法制及び立憲主義」	山崎栄一	JSDRR Newsletter Vol.23 2頁	2015年12月	国内
災害時要配慮者への支援と課題	山崎栄一	法律のひろば 2016年3月号 13～20頁	2016年3月	国内
被災者支援の法制度	山崎栄一	『東日本大震災 復興5年目の検証』ミネルヴァ書房	2016年3月	国内
母が眠る島、近くて遠い 口永良部、避難あす1カ月	山崎栄一	朝日新聞	2015年6月28日	国内
21年が問うもの117 阪神大震災(中)「私を通じて兵庫とつながって」、望郷に寄り添い8000通話。	山崎栄一	日本経済新聞	2016年1月15日	国内
要支援者名 事前提供 45% 74自治体 災害時利用、同意難航	山崎栄一	毎日新聞	2016年1月16日	国内
京都府・滋賀県の原子力災害対策	牧紀男	災害対策全書 [別冊]「国難」となる巨大災害に備える	2015年9月	国内
あなたのまちの危険物質を考える：テロだけではないCBRNリスク	牧紀男	リスク対策.COM	2015年7月25日	国内
あなたのまちの危険物質を考える(2)：テロだけではないCBRNリスク	牧紀男	リスク対策.COM	2015年11月25日	国内
あなたのまちの危険物質を考える(3)：CBRNから身を守る基礎知識とリスクコミュニケーション	牧紀男	リスク対策.COM	2016年3月25日	国内
シリーズ・東日本大震災5年 経験を教訓に出来る国づくり	秋富慎司	NHK「視点・論点」	2016年3月	国内
Attempt to Typify Disaster Educational Programs - Case Study of the Disaster Management Education Challenge Plan	TOMOYASU, K., KIMURA, R. and HAYASHI, H.	Journal of Disaster Research, Vol.10, No.2, pp.210-216	2015年4月	国際
Organizational Structure and Institutions for Disaster Prevention: Research on the 1995 Great Hanshin-Awaji Earthquake in Kobe City	MATSUYAMA, M., KIMURA, R. and HAYASHI, H.	Journal of Disaster Research, Vol.10, No.6, pp.1051-1066	2015年12月	国際
新宿駅西口地域の取り組み（口頭）	村上正浩	BOSAI タウンミーティング@原宿・表参道	2016年2月10日	国内
企業の防災対策と地域連携（口頭）	新藤淳	豊橋技術科学大学安全安心地域共創リサーチセンター主催 つながる防災・減災シンポジウム	2015年12月8日	国内
新宿駅周辺地域のエリア防災の取り組み（口頭）	村上正浩	大阪市・中之島エリアの防災に関する講演会	2015年11月30日	国内
巨大都市で想定される様々な災害(オールハザード)の現状と対策を考える（口頭）	久田嘉章	2015年日本地震工学会大会・横断セッション	2015年11月	国内

発表成果、掲載論文	発表者氏名	発表場所	発表時期	国際・国内の別
超高層テナントビルを想定した震災対応訓練と建物被害調査に関する研究 その1:自衛消防組織による震災対応訓練モデル(口頭)	鱒沢曜、久田嘉章、村上正浩、新藤淳	日本建築学会 2015 年度大会	2015 年 9 月	国内
超高層テナントビルを想定した震災対応訓練と建物被害調査に関する研究 その2:建物被害確認・情報集約手法の改善と訓練での検証(口頭)	本橋直之、鱒沢曜、田中聡、久田嘉章、宮村正光、諏訪仁	日本建築学会 2015 年度大会	2015 年 9 月	国内
超高層テナントビルを想定した震災対応訓練と建物被害調査に関する研究 その3:携帯情報端末を活用した建物被害調査システムの改善と訓練での検証(口頭)	田中聡、鱒沢曜、水越熏、中嶋洋介、久田嘉章	日本建築学会 2015 年度大会	2015 年 9 月	国内
震災・水害等による都市型複合災害の現状と課題、巨大都市における地震・水害等による複合災害対策の現状と課題	久田嘉章	日本地震工学会論文集	2016 年 3 月掲載決定	国内
中心市街地の地震災害への対応力を高める教育訓練と傷病者対応の取組み	鱒沢曜、久田嘉章、村上正浩、新藤淳	日本地震工学会論文集	2016 年 3 月掲載決定	国内
超高層テナントビルにおける地震後の建物被害確認と情報集約手法の検討	本橋直之、鱒沢曜、田中聡、久田嘉章、水越熏、中嶋洋介、宮村正光、諏訪仁	日本地震工学会論文集	2016 年 3 月掲載決定	国内
水害、地震へ対応確認 県総合防災訓練、ペット連れ参加も	林春男、田村圭子他	岩手日報	2015 年 7 月 14 日	国内
Process-based disaster management system "BOSS" (口頭)	Muneyoshi NUMADA, Kimiro MEGURO	the "International Symposium on New Technologies for Urban Safety of Mega Cities in Asia" (USMCA2015)	2015 年 10 月 29 日	国際
Development of evacuation facility management system "COCOA" for effective evacuation facility operations by sharing information among stakeholders (口頭)	Satoshi TAKATSU, Muneyoshi NUMADA	the "International Symposium on New Technologies for Urban Safety of Mega Cities in Asia" (USMCA2015)	2015 年 10 月 30 日	国際
効率的な避難所運営を実現するための IT 避難所運営支援システム "COCOA" の開発(口頭)	高津諭、沼田宗純	第 35 回土木学会地震工学研究発表会	2015 年 10 月 6 日	国内
被害程度に応じた災害対応業務量および対応期間の評価モデルの構築(口頭)	沼田宗純、目黒公郎	第 35 回土木学会地震工学研究発表会	2015 年 10 月 6 日	国内
どう使う? マイナンバー制度の運用始まる	沼田宗純	日本テレビ	2016 年 1 月 4 日	国内
<避難所管理>マイナンバーで安否 実験へ	沼田宗純	河北新報	2015 年 11 月 14 日	国内
マイナンバーで安否確認	沼田宗純	読売新聞	2015 年 12 月 2 日	国内
1 月から本格運用のマイナンバー 災害対応の切り札になるか	沼田宗純	東京大学新聞	2016 年 2 月 9 日	国内
Reviewing the first four years from Tohoku earthquake and tsunami disaster (口頭)	H.Hayashi, Shigeo Tatsuki, Munenari Inoguchi, Keiko Tamura	40th Annual Natural Hazards Research and Applications Workshop	2015 年 7 月 20 日	国際

4.7.2 特許出願, ソフトウェア開発, 仕様・標準等の策定等

4.7.2.1 特許出願

なし

4.7.2.2 ソフトウェア開発

名称	機能
供給系ライフライン地震時機能被害・復旧予測モデル (地点別簡易評価版)	着目地点の震度入力に対して、各時間断面での電気・水道・都市ガスの平均的な供給可能確率を示す供給率曲線が算出・図示される。バックアップ保有による影響緩和効果の検討や、また断水による影響波及効果の検討も可能である。 http://www1.gifu-u.ac.jp/~nojima/take_out_LLEQ.htm
災害対応図上訓練情報流通視覚化システム	図上訓練支援システムのログデータより、情報の流れを自動で抽出・視覚化する。

4.7.2.3 仕様・標準等の策定

なし